

パリ・アルプス

幸せな時間。



Robert Doisneau

ロベール・ドアノー写真展

会期 2014年4月19日[土]→6月15日[日]

開館時間：午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（5月5日[月]は開館、5月7日[水]は休館）

観覧料：一般800(640)円 高校・大学生500(400)円

（ ）内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催：郡山市立美術館 後援：在日フランス大使館／

アンスティチュ・フランセ日本



90^e ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS
日仏文化協力90周年
1924-2014

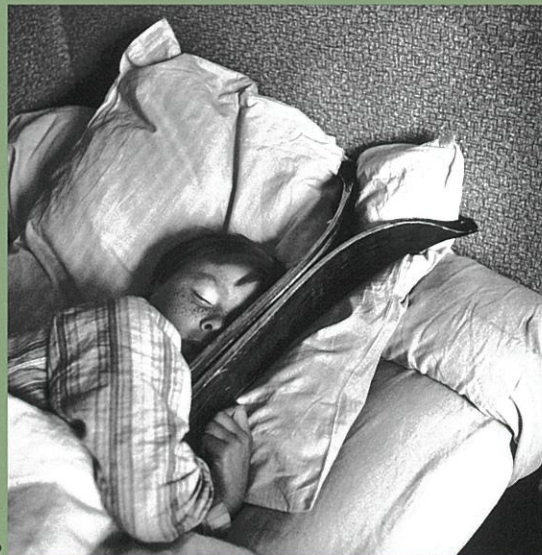
協力：アトリエ・ロベール・ドアノー、清里フォトアートミュージアム、エールフランス航空

企画協力：コンタクト

1.《モンジュスタン、バス・アルプス(アルプス・オート・ド・プロヴァンス)》1959年 2.《小さいミシェル、メジェーヴ》1936年

©Atelier Robert Doisneau/Contact

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art



パリ・アルプス 幸せな時間。

ロベール・ドアノー写真展

フランスの写真家ロベール・ドアノー(1912-1994)は、生来の自由な精神と「イメージの釣り人」とも評される類まれな洞察力で日常のドラマを撮影しました。都会であれ、大自然の只中であれ、人々の生きる姿に歓びを見出しながら、時に品のあるユーモアを滲ませるドアノーの作品は、写真史上に大きな足跡を残し、世界中の人々に愛され続けています。本展はアトリエ・ロベール・ドアノーおよび清里フォトアートミュージアムのご協力を得て、パリとアルプスを舞台にした代表作約150点を展示します。人々の幸せな時間が活写されたドアノーの世界を、どうぞご堪能ください。



1



2



3



4



5



6

1. 《パリ市庁舎前のキス》1950年
2. 《花嫁のリボン、サン・ソヴァン》1951年
3. 《芸術橋上のフォックス・テリア》1953年
4. 《兄弟、ドクトール・ルセーヌ通り、パリ》1934年
5. 《ホテル・ユンブロ、ラフレ、冬》1957年
6. 《チロル、窓辺の子供たち》1946年4月

©Atelier Robert Doisneau/Contact

講演会 「ロベール・ドアノーの世界」(仮題)

講師：堀江敏幸さん(作家、仏文学者)
日時：6月1日[日] 午後2時から
場所：多目的スタジオ(入場無料)

映画会「サウンド・オブ・ミュージック」

日時：5月5日[月・祝] 午後1時から
場所：多目的スタジオ(入場無料)
監督：ロバート・ワイズ(1965年)

ギャラリー・トーク

日時：5月10日[土]、6月14日[土]
各日午後2時から
場所：企画展示室
(企画展チケットが必要です)
講師：当館学芸員

美術講座

「ロベール・ドアノーとその時代」
日時：5月18日[日] 午後2時から
場所：講義室(聴講無料)
講師：当館学芸員

常設展

4月23日[水]～7月13日[日]
[第1室] 人物を描く
[第2室] 日本油彩画の魅力
[第3室] スウィング・ロンドン
[第4室]
①版画雑誌の世界
②ドレスラーと日本の美術
●4月22日[火]は展示替えの為常設展はご覧いただけません。



郡山市立美術館

Koriyama City Museum of Art

バス：JR郡山駅南5番のりば美術館経由東部ニュータウン「行き」郡山市美術館「下車」すぐ 乗用車：東北道「郡山南」IC/磐越道「郡山東」ICより20分 駐車場130台

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350

http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijiyutukan/



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C010089



Paris・les Alps, le temps de bonheur

ロベール・ドアノーの写真



パリ・アルプス・幸せな時間

2014.7.5 sat. → 9.29 mon.



【パリ市庁舎前のキス】1950 Le Baiser de l'Hôtel de Ville



【小さいミッシェルの夢 メジェーヴ】1936 "Le rêve du petit Michel" Mègeve

Robert Doisneau



【モーリス・バケ、きのご岩の上で、シャモニー】1957 Maurice Baquet, le champignon rocheux, Chamonix ©Atelier Robert Doisneau/Contact



主催：清里フォトアートミュージアム
後援：在日フランス大使館/
アンステイチュ・フランセ日本
協力：アトリエ・ロベール・ドアノー、
エールフランス航空
企画協力：コンタクト
会期：2014年7月5日(土)～9月29日(月)
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は開館)
7月5日～9月1日まで無休
開館時間：10:00～18:00
(入館は閉館30分前まで)
入館料：一般800円(600円)
学生600円(400円)
中・高生400円(200円)
友の会会員無料

()内は20名様以上の団体料金
家族割引 1200円(2名以上～6名様まで)

ケイ・モバ
K★MoPA
清里フォトアートミュージアム
Kiyosato Museum of Photographic Arts

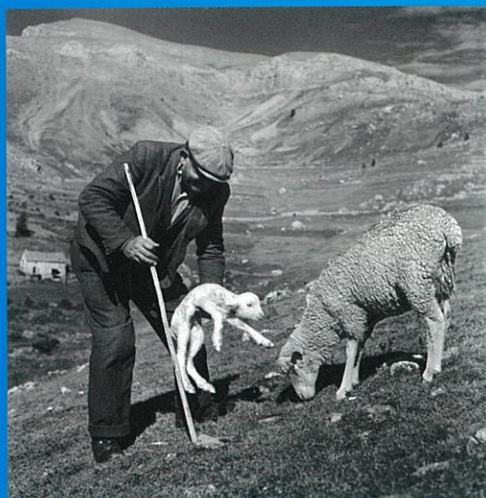
ロベール・ドアノーの写真 ❷ パリ・アルプス・幸せな時間

ロベール・ドアノー (1912-1994) は、市井の人々のかけがえのない一瞬や、心に染み入る瞬間をとらえる洞察力と、軽やかな遊び心に満ちた感覚で、フランスでは「イメージの釣り人」と評されています。日常のドラマを紡いだ写真は、時代や国境を越えて、今も人々を魅了し続けています。なかでも《パリ市庁舎前のキス》(1950)は、世界で最も良く知られた写真の一枚でしょう。

本展は、フランス・グルノーブルのギャップ美術館にて2012年に開催され、大きな話題となった「ドアノーのアルプス」展の日本巡回に加えて、当館所蔵のドアノーの代表作の中から30点、また愛媛県を撮影して制作した子どもたちのための写真絵本『1. 2. 3. 4. 5 遊びながら数えよう』(1954)のウィンテージ・プリントを加えた約140点を展示します。これらをフランス国外で展示されるのは日本が初めてとなります。

アルプスは、ドアノーにとって、どのような場だったのでしょうか? 24歳のドアノーは、1936年、新婚の妻とともに、パリっ子たちのヴァカンス場として人気のスキースポット・メジェーブを訪れました。その後も、家族旅行、ヴォーグ誌のためのファッション撮影、車の広告、モーリス・バケ(俳優、登山家、チェリスト)の撮影など、たびたびアルプスを訪れています。アルプスは、パリとは全く異なるフォトジェニックな魅力に満ちた創作の場でした。そして、若き写真家が撮影に熱中し、「写真」と葛藤した大自然のスタジオだったのです。

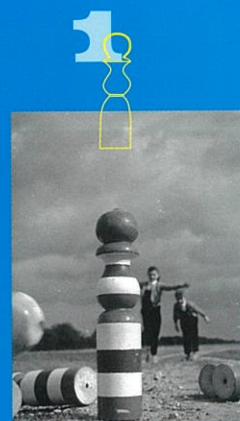
初期作品から円熟期の代表作まで、ドアノーが心から愛した数々の「幸せな時間」——多くの未発表作品に見る巨匠の新しい一面に再び魅せられることでしょう。



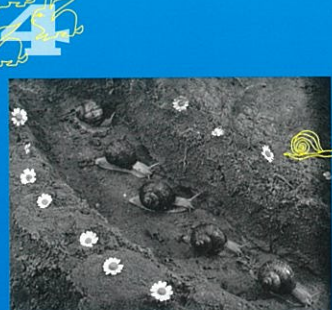
【母親に返される子羊、移牧】1958 *L'agneau rendu à sa mère, Transhumance*



【構図集め】1956 *L'information scolaire*



【二人の幸せなスキーヤー、メジェーブ】1936 *Deux skieurs heureux, Megève*



写真絵本【1. 2. 3. 4. 5 遊びながら数えよう】(1954)から 1, 2, 3, 4, 5 *Compter en s'amusant*

会期中のイベント 詳しくは www.kmopa.com ご予約は info@kmopa.com

feel 清里現代彫刻展

○7月26日(土)～9月28日(日)

建築家・栗生明氏設計のKMOPAの空間に触発された8名の造形作家たちが、館の内外に立体作品を展示します。

KMoPAチャリティ・ライブ2014

○9月14日(日) 午後2:00～4:00

写真家・井津建郎氏が、地雷の被害にあったカンボジアの子どもたちのために開院した「アンコール小児病院」。KMOPAが過去18年間支援してきた同病院は、2013年1月自立を果たしました。本チャリティは、引き続き井津氏が設立・運営に着手したラオスの小児病院と東日本大震災の被災者支援団体「いのち・むすびば」に収益を寄付します。
「モンゴルの風 伝統歌唱ホーミーと馬頭琴、口琴の調べ」

●出演：梅木秀徳

1977年岩手県陸前高田市生まれ。モンゴルのホーミー指導の

第一人者ベータル・オドスレン氏に師事し、モンゴルホーミー協会からプロフェッショナルホーミー歌手の認定を受ける。モンゴル、ロシアなど大陸での生活、活動経験や被災地の陸前高田の現状も語ります。

参加費：一般3,000円、2名以上は1名様2,000円、小中学生無料
友の会会員は各1,000円引き 要予約/定員70名/全席自由

ブラチナ・プリント・ワークショップ

写真技法の中で最も保存性が高く、優美な色調のブラチナ・プリント。デジタルの対極にある手作りの印画紙を作ってみませんか。モノクロ現像が初めての方でも講師が丁寧に指導いたしますので、ぜひお気軽にご参加ください。(定員8名)

○9月27・28日(土・日) 2日間

講師：細江賢治(写真家)

*詳細とお申し込みは当館HPからどうぞ



東京での
展覧会
会期：2014年8月9日(土)～8月24日(日) 月曜休館
会場：東京都写真美術館 地下1階 展示室

清里フォトアートミュージアム開館20周年記念
世界の若い写真家の情熱を未来に伝える
「ヤング・ポートフォリオ」20年の軌跡

世界の35歳までの写真家による作品を購入・収蔵することで若手作家を支援する「ヤング・ポートフォリオ」。1995-2013年度までに収蔵した約5千点より、約500点の作品と歴代選考委員35人の初期作品を同時に展示いたします。(入場無料)トークイベントなど詳細はHPをご覧ください。

ケイ・モバ
K★MoPA
清里フォトアートミュージアム
Kiyosato Museum of Photographic Arts



<http://www.kmopa.com/>

■車にて：中央自動車道須玉I.C.または長坂I.C.より約20分
■JR：中央本線小淵沢駅にて 小海線乗り換え → 清里駅下車 → 車で約10分
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545-1222 Tel:0551-48-5599(代)

f www.facebook.com/kmopa

t <https://twitter.com/kmopa>